

年平均24億円、合計1200億円の建替費用が必要だという試算になった。進め方としては、24年度中に見直しの優先順位付けを行い施設の存続、統合、廃止を考えていきたい。

うつ対策・自殺予防対策について

問 市の現状と、今後市職員向けに見守る人と定義されるゲートキーパーの養成研修をする考えは。

答 23年度の自殺者は19名で県平均より少し多い。ゲートキーパー養成については職員研修として行えるか検討していく。

鈴木貴晶(自由クラブ)

蒲郡まつりの歩行者天国について

問 例年、歩行者天国として行っていた中央通りフェスタが24年度で最後と聞いた。25年度に向けた新たな試みの考えは。

答 歩行者天国の終了に伴う市民の反応を見なが



24年度で終了が決定した中央通りフェスタ

ら、限られた予算の中で歩行者天国のイベントを担ってくれる団体やイベント企画会社に委託できるかなどを考え、実施に向けて前向きに検討していきたい。

市職員のAED講習について

問 市職員においても定期的に全職員がAED講習を受講できるようにシステム作りが必要ではないかと考えるがどうか。

答 21年に全職員を対象に研修を行ったが、3年ほど経過してしまっている。職員が率先してAEDが使えるように人事課と消防署

の間で相談をし、継続して定期的に受講できるように検討していく。

日恵野佳代(無会派・日本共産党)

総合的な公共交通の実施について

問 コミュニティバスの取り組みが蒲郡は遅れていると感じるが市の認識はどうか。

答 コミュニティバスを実施するかどうかも公共交通についての基本計画の中で考えていく。

問 公共交通を検討する協議会を構成する「住民」とは、形原と西浦地区だけを対象としているのか、全



幸田町で運行されているコミュニティバス

市を対象としているのか。形原地区に限らず全市的な協議会の立ち上げを考えている。

原発ゼロについて

問 中部電力に浜岡原発を直ちに廃炉とするように申し入れる考えはあるか。

答 浜岡原発では、津波に對して補強の工事を着々と進めているので具体的な心配の必要はなく、また耐震工事により、地震に對して過度に心配することはないと考えている。

稲吉郭哲(自由クラブ)

第四次総合計画の目標人口達成の施策は

問 市と土地開発公社が保有する162件の土地に定期借地権などの活用ができないか。

答 定期借地権は、民間でも積極的に活用されているので市有地での検討もしていきたい。土地開発公社の土地には定期借地権が



土地開発公社が所有している形原町春日浦の住宅地

設定できないので、市が公社の土地を取得する状況になった後と考えている。

問 蒲郡市で空き家バンク事業についての考えは。

答 豊田市と設楽町が行っている。実績や効果を参考に検討していく。

企業誘致の状況・企業用地の確保について

問 市長、副市長みずから企業訪問を始めたと同ったが反響はどうか。

答 企業用地が市内にないという意見を企業側からいただいている。早期の企業用地の確保のためにプロジェクトチームを設置し進めたいと考えている。